**生活（食育）学習指導略案**

１．教科　単元　生活　「給食ができるまで」

２．日時　令和２年２月４日（火）１３：４０～１４：３０（前半20分、休憩10分、後半20分）

３．場所　６年教室・高学年ホール

４．児童　小学部６年

５．指導者　Ｔ１：図工担当教員　　Ｔ２：栄養教諭

６．ねらい　・給食ができるまでのスライドショーや、給食で使う道具を見たりすることを通して、自分たち

が食べている給食がどのように作られているのかを知ろうとすることができる。（学びへ向かう力）

・実際に給食を作るときに使用する道具を見たり、使ったりする体験を通して、大きさや素材や

感触のちがいを味わうことができる。（知識・技能）

７．展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時間 | 学習内容・学習活動 | 指導上の留意点等 | 評価（観点方法等）準備物 |
|  | 児童の学習内容 | 指導の手立て（☆）留意点（●） | 方法 |
| 導入 | １．あいさつをする。・始まりのあいさつ・食べ物の歌を聞く２．本時の学習を確認し、ゲストを紹介する。 | ●学習の始まりを意識できるよう、当番があいさつをする。●T1が見通しをもって学習できるように、スケジュールボードを使い、確認をする。●T2は簡単に自己紹介をする。いつも食べている給食はどのように作られているのだろうか。 | ・CD・歌詞カード・スケジュールボード |
| 展開 | ３．給食ができるまでについて知る。　＜休憩＞４．給食室にある道具について知り、体験する。・しゃもじやお玉の大きさ・回転釜の大きさ・材料を混ぜるスパテラ | ●T2がパワーポイントのスライドショーを使用して説明し、給食のカレーができるまでの流れを大まかに捉えられるようにする。☆しゃもじやお玉は給食室用と家庭用を比較し、大きさの違いを体感できるようにする。☆回転釜の大きさが感覚的に分かるように、回転釜の円周と同じ長さの輪を用意し、その中に入る活動を行う。☆給食室用のスパテラで、カラーボールを混ぜる体験を通し、大きな道具を使う調理員さんの仕事の大変さを体感できるようにする。 | ・TV、PC、PP・TV、PC、PP・しゃもじ、お玉（給食室用、家庭用）・ひもで作った3.14ｍの輪（釜の直径１ｍ）・しゃもじ、お玉（給食室用、家庭用）・大きな鍋・スパテラ・カラーボール |
| まとめ | ５．活動を振り返り、友達の発表を聞く。６．あいさつをする。・おわりのあいさつ | ☆T1が何をどんな様子で体験することができたかを１人ずつ聞いていき、本時の活動を振りかえりやすくする。●T1が友達の発表を聞くように促す。●学習の終わりを意識できるよう、当番があいさつをする。 | (評)活動できたことから、給食について知ろうとしているかを見とる。（学びに向かう力）（知識・技能） |